

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和2年1月】

■調査概要（データ対象期間：令和2年1月1日～1月31日）

○調査期間：令和2年1月29日～令和2年2月20日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業24企業、製造業21企業、卸売業13企業、小売業30企業

飲食業16企業、サービス業46企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計150企業>

○調査項目：1月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

業況DIはマイナス幅の縮小 水準DIはマイナス幅の拡大

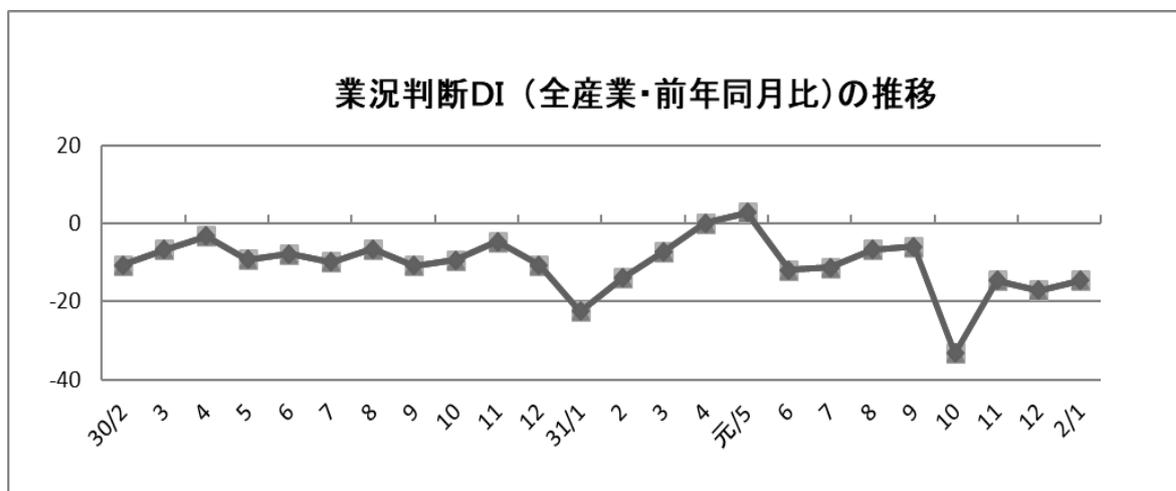
## 1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲17.2）よりマイナス幅が2.6ポイント縮小し、▲14.6となった。業種別では、建設業がマイナスからプラスに転じ、製造業、サービス業はマイナス幅が縮小した。卸売業は横ばいで、小売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲13.2）よりマイナス幅が7.4ポイント拡大し、▲20.6となった。業種別では、建設業はマイナスから0になり、サービス業は0からマイナスになった。卸売業はマイナス幅が縮小し、小売業、飲食業、製造業はマイナス幅が拡大した。

	業況判断DI				業況判断DI			
	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	14.7 (11.3)	56.0 (60.2)	29.3 (28.5)	▲ 14.6 (▲ 17.2)	14.7 (11.3)	50.0 (64.2)	35.3 (24.5)	▲ 20.6 (▲ 13.2)
建設業	8.3 (8.0)	87.5 (76.0)	4.2 (16.0)	4.1 (▲ 8.0)	8.3 (4.0)	83.4 (88.0)	8.3 (8.0)	0.0 (▲ 4.0)
製造業	19.0 (9.1)	42.9 (45.4)	38.1 (45.5)	▲ 19.1 (▲ 36.4)	14.3 (9.1)	38.1 (63.6)	47.6 (27.3)	▲ 33.3 (▲ 18.2)
卸売業	7.7 (0.0)	46.1 (61.5)	46.2 (38.5)	▲ 38.5 (▲ 38.5)	7.7 (0.0)	38.5 (53.8)	53.8 (46.2)	▲ 46.1 (▲ 46.2)
小売業	23.3 (16.7)	30.0 (50.0)	46.7 (33.3)	▲ 23.4 (▲ 16.6)	20.0 (13.3)	33.3 (53.4)	46.7 (33.3)	▲ 26.7 (▲ 20.0)
飲食業	6.3 (13.3)	49.9 (53.4)	43.8 (33.3)	▲ 37.5 (▲ 20.0)	25.0 (13.3)	18.7 (53.4)	56.3 (33.3)	▲ 31.3 (▲ 20.0)
サービス業	15.2 (13.0)	67.4 (67.4)	17.4 (19.6)	▲ 2.2 (▲ 6.6)	13.0 (17.4)	63.1 (65.2)	23.9 (17.4)	▲ 10.9 (0.0)

( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計  
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

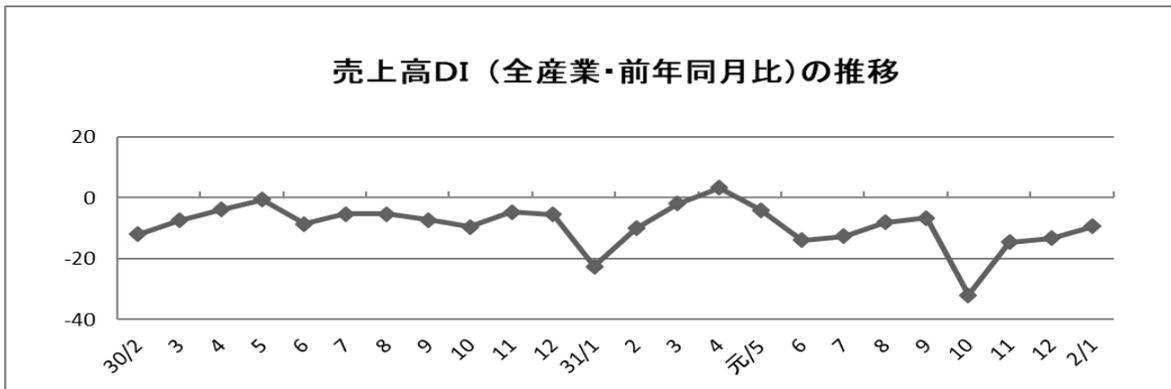


## 2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲13.3）から4.0ポイント縮小して▲9.3となった。業種別に見るとサービス業は0からプラスになり、建設業はマイナスからプラスに転じた。製造業、卸売業はマイナス幅が縮小し、飲食業、小売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月
全 体	▲22.5	▲10.0	▲1.9	3.3	▲4.0	▲13.9	▲12.6	▲8.0	▲6.6	▲32.0	▲14.6	▲13.3	▲9.3
建設業	▲10.0	▲20.0	8.4	▲8.7	▲26.1	▲13.1	▲8.3	0.0	▲4.0	4.0	0.0	▲4.0	16.6
製造業	▲36.0	▲10.0	10.0	4.4	▲4.8	▲22.8	▲4.8	▲35.0	13.6	0.0	▲18.2	▲40.9	▲14.3
卸売業	▲40.0	▲26.7	▲15.4	0.0	▲25.0	▲15.4	▲40.0	▲50.0	▲41.7	▲64.3	▲50.0	▲38.5	▲30.8
小売業	▲29.6	▲12.0	▲12.9	▲3.6	▲14.3	▲20.7	▲25.8	6.7	13.3	▲39.3	▲21.9	▲6.7	▲23.4
飲食業	▲35.3	▲35.3	▲22.2	11.1	0.0	▲47.1	▲12.5	▲26.6	▲31.3	▲76.5	▲43.8	▲20.0	▲31.2
サービス業	▲6.4	10.5	6.6	10.8	16.7	6.4	▲4.2	4.0	▲12.8	▲34.1	4.6	0.0	2.2

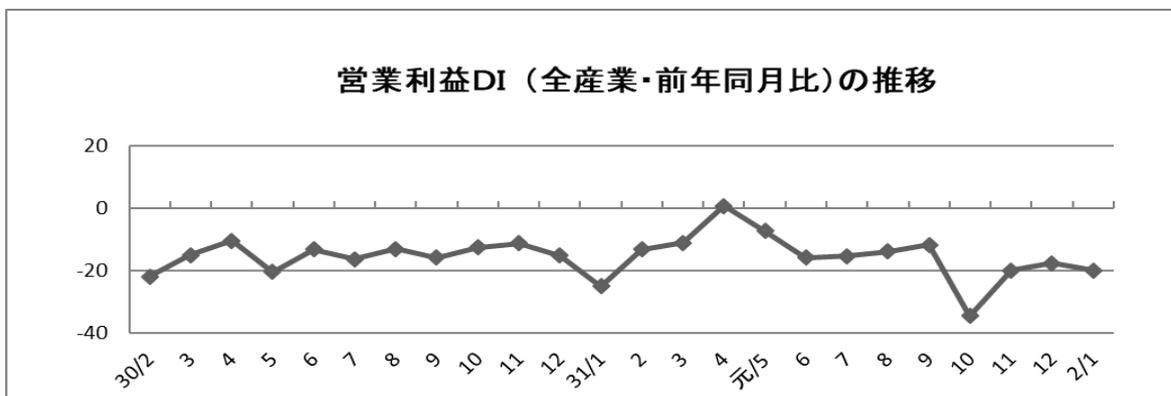


## 3. 営業利益D I（前年同月比）

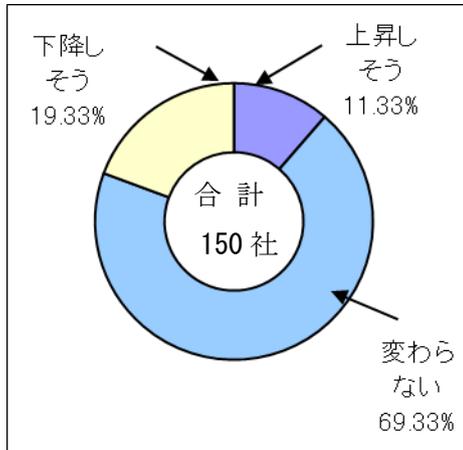
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲17.8）より2.2ポイント拡大して、▲20.0となった。業種別に見ると、建設業は0からマイナスになり、サービス業はマイナスから0になった。製造業、飲食業はマイナス幅が縮小し、卸売業、小売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月
全 体	▲25.2	▲13.3	▲11.2	0.7	▲7.4	▲15.9	▲15.4	▲14.0	▲11.8	▲34.7	▲20.0	▲17.8	▲20.0
建設業	▲15.0	▲16.0	▲4.2	▲4.4	▲13.1	▲17.4	▲16.7	0.0	▲8.0	▲4.0	▲4.0	0.0	▲4.2
製造業	▲32.0	▲30.0	▲20.0	8.7	▲19.1	▲18.2	▲19.0	▲45.0	▲9.1	▲10.5	▲31.8	▲50.0	▲38.1
卸売業	▲40.0	▲6.7	▲7.7	25.0	8.3	▲15.4	▲10.0	▲40.0	▲16.6	▲50.0	▲25.0	▲23.1	▲30.8
小売業	▲44.4	▲12.0	▲25.8	▲14.2	▲10.7	▲27.6	▲22.6	▲10.0	10.0	▲46.4	▲28.1	▲16.7	▲36.7
飲食業	▲35.3	▲41.1	▲27.8	0.0	▲5.5	▲47.1	▲18.8	▲20.0	▲43.7	▲82.4	▲50.0	▲40.0	▲37.5
サービス業	▲6.4	2.1	4.4	2.1	▲2.1	4.3	▲8.3	▲4.0	▲17.1	▲31.9	▲4.6	▲4.4	0.0



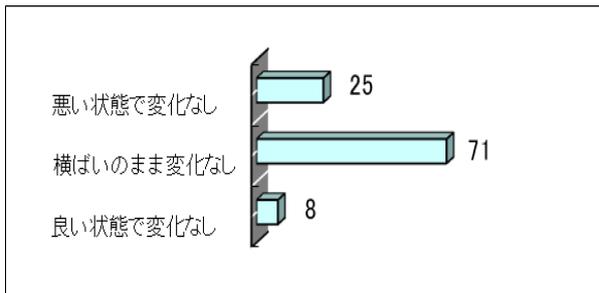
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和2年2月～令和2年4月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ6.03ポイント増加し11.33%、「下降しそう」が7.41ポイント増加し19.33%となった。業種別の見通しDIは建設業(4.2)、製造業(4.8)、卸売業(▲23.1)、小売業(▲26.6)、飲食業(▲6.3)、サービス業(▲4.4)であった。

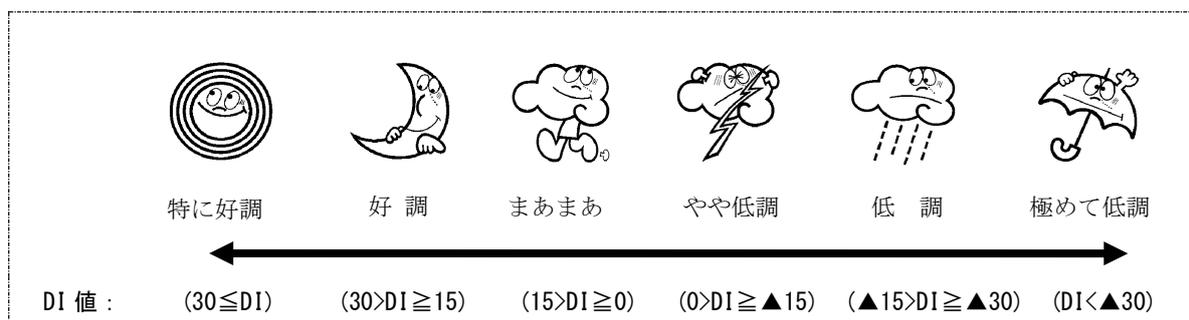
➡「上昇しそう」では「年度末から6月位迄の繰越工事があり期待するため」(建設業)「例年、年度末は繁忙期となるため」「受注増が見込めるため」「季節的要因のため」「繁忙期になるため」(製造業)「時期的要因によるため」「松本山雅特需のため」(小売業)「2月に多少客に動きがあり、例年増客の3月、4月の上昇に期待するため」「年度末なので宴会が増えるため」(飲食業)「新学年に向けて体験が増えそうのため」「2月、3月がディーラーの決算月なので車輛販売が増える可能性があるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「引合い、受注量とも下降気味なため」「オリンピック前で現在停滞のため」「冬場は冷え込みが心配なため」(建設業)「注文が全くないため」「新型コロナウイルス感染症による影響が長引くため」「新型コロナウイルス感染症による観光客の減少により、消費マインド低下のため」「印刷用紙、材料値上げの状況下で依然としてデフレ価格を提示する営業が有るため」(製造業)「新型コロナウイルス感染症による影響のため」(卸売業)「新型コロナウイルス感染症の拡大により業況は更に悪化するため」「改装工事中で仮店舗営業が続くため」「人が動いていないため」「売上が伸びないため」(小売業)「例年2月は期待できないため」「新型コロナウイルス感染症の影響のため」(飲食業)「新型コロナウイルス感染症の影響のため」「雪不足の報道等でスキーへ向かう人が減るため」「2月に松本駅前に客室数の多いホテルがオープンするため」「規模の大きいプロジェクトの納品が完了したため」(サービス業)といった声が寄せられた。

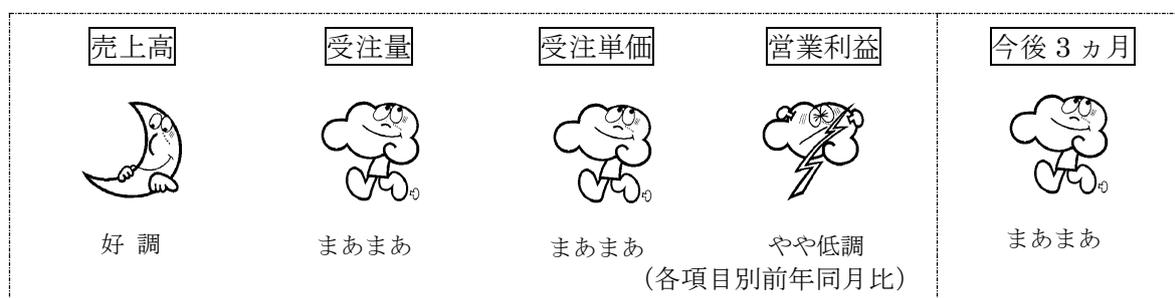


# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月
売上高	▲10.0	▲20.0	8.4	▲8.7	▲26.1	▲13.1	▲8.3	0.0	▲4.0	4.0	0.0	▲4.0	16.6
受注量	▲10.0	▲12.0	▲16.7	▲8.7	▲8.7	0.0	▲12.5	4.0	4.0	20.0	4.0	▲4.0	0.0
受注単価	5.0	4.0	0.0	0.0	▲4.3	▲8.7	0.0	4.0	▲4.0	0.0	▲4.0	▲4.0	0.0
営業利益	▲15.0	▲16.0	▲4.2	▲4.4	▲13.1	▲17.4	▲16.7	0.0	▲8.0	▲4.0	▲4.0	0.0	▲4.2
見通し	10.0	12.0	▲4.1	13.1	13.0	4.3	8.4	▲4.0	▲4.0	4.0	0.0	▲8.0	4.2

## <経営者の目・見方・etc>

### 建設業

- ・12月に続き暖冬で雪も少なく現場の工程がスムーズに進みありがたかったが、除雪作業が全く無いと除雪機械の経費等が確保できないので、難しい問題だと思う。
- ・技術者及び技能者が不足していると感じる。

### 建築工事

- ・公共も期末に向けて入札案件も少なく、民間の受注と公共ですでに入札した案件でしのいでいるが、今後の状況が不安である。

### 土木工事

- ・1月の実質稼働時間が少ないこともあり挽回を図る事に集中している。幸い天候が良く、外気温も暖かいため、進捗度は高まっている感じである。
- ・新型コロナウイルス感染症の報道をみると、何かマスコミに踊らされているだけのような気がする。

### 管工事

- ・売上高が少し上がったが、利益率が比例して上がって来ない。物価上昇率に連動していかない状態である。

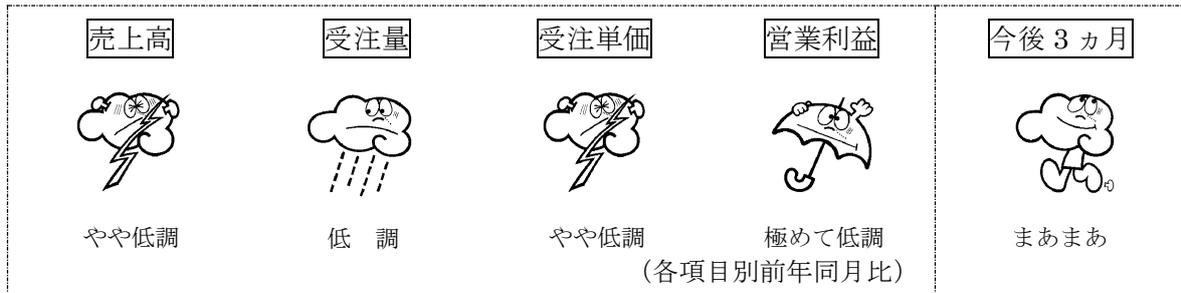
### 電気工事

- ・1月から3月にかけては官庁関係の竣工現場が多いため仕上げで忙しいが、4月以降どのようになるのか今のところ分からないため不安である。

鉄工

- ・関東方面が当社の主な顧客であるが、昨年同時期に比べ下降気味であると感じる。オリンピック等の関連需要のみでなく、製造業の停滞や中国での新型コロナウイルス感染症の影響など今後の不安材料が多い感じである。当社も今後直接ではないにしろ、影響を受けると考える方が自然な気がする。
- ・高力ボルトの入手難はほぼ改善された。
- ・3Kのこの業界は、全体の担い手不足が心配される場所である。

## 2. 製造業



【項目別DIの推移】

	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月
売上高	▲ 36.0	▲ 10.0	10.0	4.4	▲ 4.8	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 35.0	13.6	0.0	▲ 18.2	▲ 40.9	▲ 14.3
受注量	▲ 40.0	▲ 5.0	0.0	8.7	▲ 14.3	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 10.0	4.5	▲ 10.5	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 19.0
受注単価	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 10.0	0.0	▲ 19.0	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 10.0	▲ 18.2	▲ 15.8	▲ 22.7	▲ 13.6	▲ 14.2
営業利益	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 20.0	8.7	▲ 19.1	▲ 18.2	▲ 19.0	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 31.8	▲ 50.0	▲ 38.1
見通し	12.0	0.0	▲ 10.0	▲ 30.4	▲ 14.3	0.0	▲ 9.5	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 15.8	▲ 27.3	▲ 4.5	4.8

### <経営者の目・見方・e c >

印刷

- ・消費税増税の影響がまだまだ続いている感じが強い。昨秋の増税で販売業の売上が減り、冬になって忘新年会の数が減ることで飲食業に波及し、その他の業種はこれからの影響が更に強まるのではないかと心配される。
- ・同業他社の営業はトップの盲目的固執で、印刷用紙、材料値上げの状況下においても、さらなる値下げ価格で横暴に仕事を取ろうとする動きがある。業界を持続可能な状態にする判断より、目先の存続としての売上や利益のためだけに動いているのだろうか。業界としては依然強いデフレの状況であるとともに、クライアントの予算化への動きも乏しいため、受発注両側に業界を弱体化させてしまう要因が継続されてしまっている。

酒類

- ・異常気象により、雪がないなど、暖冬のため、例年より観光客が少ない。そこにさらに新型コロナウイルス感染症の大流行が連日テレビニュースにながれ、消費マインドが落ち、観光客などは旅行を控えるようになっている。人ごみを避けるなど、外へ出る機会も減る現象もあると思われる。
- ・新酒のしぼれるシーズンなので、季節ものなどに力を入れて販売している。新酒の動きは悪くないが、全体量としては横ばいの状況である。

金属塗装

- ・米中貿易摩擦に加え、新型コロナウイルス感染症の影響なのか受注が極端に落ち込み、1月は過去10年の間で1番悪い状況である。

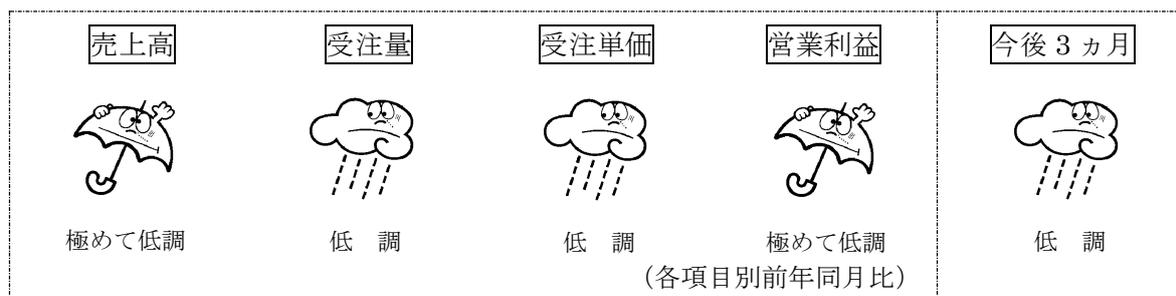
機械

- ・新型コロナウイルス感染症による中国生産停止が、販売に影響しそうである。

精密機械  
小型情報機器組立  
菓子

- ・目先は極めて低調だが、先々の案件が動き始めてきている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で部品が届かなくなりそうで先が見えず心配である。
- ・暖冬の影響でスキー、スノーボードのお客様が大幅に減っている事と、新型コロナウイルス感染症の影響でインバウンド客が全くと言っていいほど見られず、お土産向けの商品は非常に動きが悪いように思われる。

### 3. 卸売業



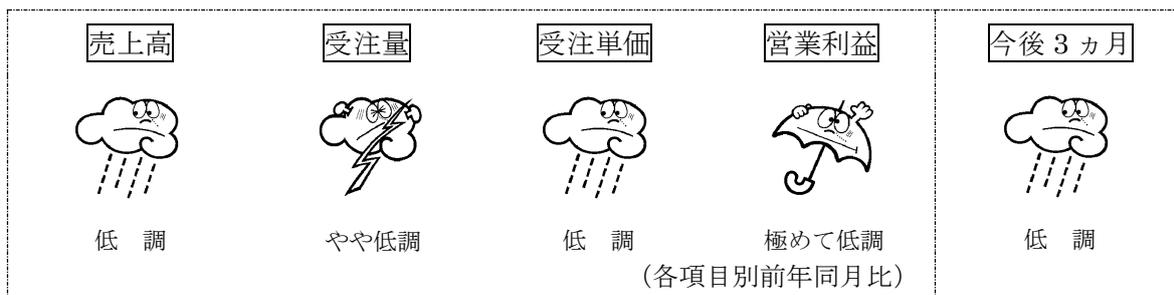
#### 【項目別DIの推移】

	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月
売上高	▲40.0	▲26.7	▲15.4	0.0	▲25.0	▲15.4	▲40.0	▲50.0	▲41.7	▲64.3	▲50.0	▲38.5	▲30.8
販売客数	▲13.3	▲6.7	▲7.7	0.0	▲16.7	▲15.4	▲30.0	▲20.0	▲16.7	▲28.6	▲16.7	▲15.4	▲15.4
販売客単価	▲20.0	▲20.0	▲15.4	0.0	0.0	▲7.7	▲20.0	▲20.0	0.0	▲35.7	▲8.4	7.7	▲23.1
営業利益	▲40.0	▲6.7	▲7.7	25.0	8.3	▲15.4	▲10.0	▲40.0	▲16.6	▲50.0	▲25.0	▲23.1	▲30.8
見通し	▲6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	7.7	▲10.0	▲10.0	8.3	0.0	▲16.7	7.7	▲23.1

#### <経営者の目・見方・e t c >

- 土産品
- ・消費低迷の中、新型コロナウイルス感染症による影響が日増しに増大され、中国からの入荷予定の製品が遅れる他、売上にも響く状況である。
- 鮮魚
- ・新型コロナウイルス感染症による観光地への影響が心配である。
- 青果
- ・暖冬の影響により季節商品の売れ行きが悪い。反面、生産は順調で生産量は全国的に増量であるが、北海道から東北、北信越エリアが雪不足で観光業を含む業務需要も全国的に低い。
- 業務用食品
- ・今シーズンは年末年始にオープン出来なかったスキー場や新型コロナウイルス感染症の騒ぎがあり、外食関係他への悪影響がどの程度なのか、またいつまで続くのか心配である。
- 金属製品
- ・中国の春節明けからの動きを注視していたが、新型コロナウイルス感染症による影響で一変しており、国外マーケット、輸入材の状況で左右される。
  - ・建設業界は案件の話は旺盛であるが、春先までの案件は薄い状態で、オリンピック後にならないと首都圏案件は動きが悪い状況である。
- 機械工具
- ・先月より商品の動きが悪くなってきて、今月は特に落ち込みが大きかった。通常ではここから上がっていくのだが、新型コロナウイルス感染症の影響で中国からの客先への受注が止まらないか不安がある。

## 4. 小売業



【項目別DIの推移】

	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月
売上高	▲29.6	▲12.0	▲12.9	▲3.6	▲14.3	▲20.7	▲25.8	6.7	13.3	▲39.3	▲21.9	▲6.7	▲23.4
販売客数	▲37.0	▲16.0	▲12.9	3.6	▲3.6	▲31.1	▲35.5	0.0	0.0	▲42.9	▲25.0	▲13.3	▲6.7
販売客単価	▲14.8	4.0	▲16.1	▲7.2	▲7.2	▲20.7	▲6.5	3.4	3.3	▲35.8	▲15.6	10.0	▲16.7
営業利益	▲44.4	▲12.0	▲25.8	▲14.2	▲10.7	▲27.6	▲22.6	▲10.0	10.0	▲46.4	▲28.1	▲16.7	▲36.7
見通し	0.0	4.0	6.4	3.5	▲10.7	▲17.3	▲16.1	0.0	▲26.6	▲10.7	▲9.4	▲3.3	▲26.6

### <経営者の目・見方・e t c >

印章

・ポイント還元之恩恵なのか、キャッシュレス支払いが一般的になってきたためなのかキャッシュレスの売上が今月も増加している。

印章・刃物研ぎ

・雪が少ない事は、街にとって助かる事である。

住宅機器

・動きがなく、今年が心配である。

生鮮食品

・元日はどこへも出かけず家族でゆっくりするが、元日も休まず営業する店もある。問題にもなっていて両極端である。今年は元日に休んでいる店が多かったと聞き何だかほっとした。

パン

・景気が上向く好材料が見当たらない現状である。コツコツと日々の努力を積み上げるのが成功への一番の近道である。

洋菓子

・自店も含め、スタッフが定着しないという話を他店からも聞き、色々試しているがなかなかうまくいかない状況である。人に頼る部分が多いので、今後の事をしっかり考えないといけないと感じている。

和菓子

・街に人が少ないと感じる。

婦人服

・12月からのセールが通常になり、年々1月の売上が期待出来なくなっている。利益の取れない販売から、良い商品が作れないサイクルになっていると感じて残念である。

陶磁器

・暖冬で降雪も無く、初売りもあめ市も賑わった。正月が終わると例年通り地元客、観光客共に減少する閑散期に入ったが、新型コロナウイルス感染症の流行次第では厳しい局面が長期化するかもしれないと思う。

化粧品

・新型コロナウイルス感染症による影響は、いつまで続くのか心配である。

燃料

・新型コロナウイルス感染症が心配である。

## 5. 飲食業



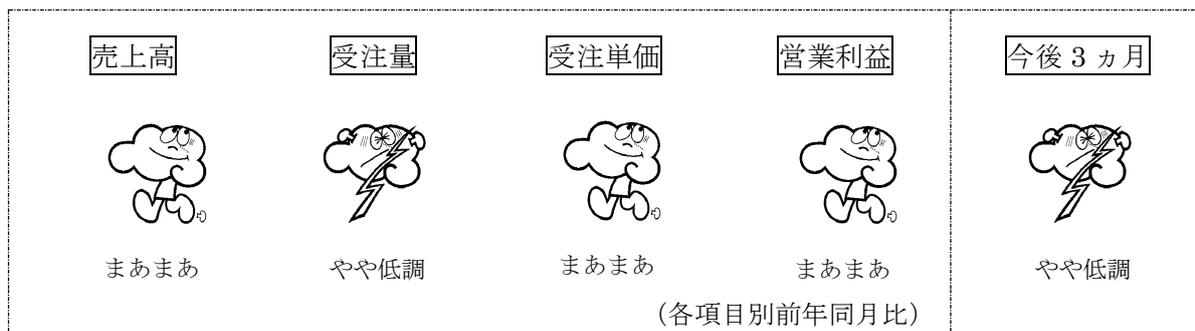
【項目別DIの推移】

	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月
売上高	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 22.2	11.1	0.0	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 31.3	▲ 76.5	▲ 43.8	▲ 20.0	▲ 31.2
販売客数	▲ 23.6	▲ 41.1	▲ 16.7	11.1	5.5	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 37.5	▲ 70.6	▲ 43.8	▲ 13.4	▲ 25.0
販売客単価	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 27.7	0.0	▲ 5.5	▲ 23.5	0.0	▲ 20.0	▲ 18.7	▲ 17.6	▲ 18.7	▲ 20.0	▲ 18.7
営業利益	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 27.8	0.0	▲ 5.5	▲ 47.1	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 43.7	▲ 82.4	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 37.5
見通し	0.0	11.7	▲ 11.1	0.0	▲ 5.5	11.7	0.0	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 5.9	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 6.3

### <経営者の目・見方・etc>

- |              |  |
|--------------|--|
| 料理           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年の初めで意気込んだが、全てが落ち込みむちゃくちゃな時代になりそうで不安である。</li> </ul>  |
| 中華料理         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月までの政府の支援が無くなった後のキャッシュレスの対応について不安を感じるが、周りの店はどう感じているのか知りたいところである。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響について不安材料が増すばかりである。</li> </ul>                                 |
| 郷土料理<br>創作料理 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リピート客、地元客は変わらないが、国内、海外とも旅行客が減少した。</li> <li>・2月に入り例年並みとはいかないがお客さんに動きが出てきた。このまま例年の書き入れ時の3月、4月に例年並みに動いてくれれば回復も期待できると考えている。3月の予約はこれからであるため不透明である。</li> </ul> |
| 居酒屋<br>食堂    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・暖冬の影響か週末の人出があった。</li> <li>・正月三が日のイオンモールの人出はすごかった。周辺の道路は渋滞し、中町からイオンモールにかけて歩行者も多く大変賑やかであった。</li> </ul>   |
| 寿司           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年だと正月が終わると寒さのため中旬から下旬に、売上、客足が悪くなるのが飲食業の当たり前ののだが、今年は暖冬のお陰ですこぶる客足が良かった。</li> </ul>  |
| そば           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年だと元日、2日で人の流れが切れてしまうのだが、今年は元日から大勢の人出が5日迄続き盛況であった。宴会等の予約もあり良い新年のスタートを切ることができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響が心配である。</li> </ul>                               |

## 6. サービス業



### 【項目別DIの推移】

	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月
売上高	▲ 6.4	10.5	6.6	10.8	16.7	6.4	▲ 4.2	4.0	▲ 12.8	▲ 34.1	4.6	0.0	2.2
販売客数	17.0	2.1	4.4	4.3	0.0	4.3	▲ 8.3	2.0	▲ 14.9	▲ 40.4	0.0	▲ 10.9	▲ 10.9
販売客単価	▲ 2.1	6.2	6.7	▲ 4.4	2.1	2.1	▲ 6.2	6.0	▲ 6.3	▲ 25.5	2.3	▲ 2.2	4.3
営業利益	▲ 6.4	2.1	4.4	2.1	▲ 2.1	4.3	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 17.1	▲ 31.9	▲ 4.6	▲ 4.4	0.0
見通し	10.6	16.7	8.9	4.3	8.4	6.4	▲ 2.1	▲ 12.0	▲ 14.8	▲ 2.1	▲ 7.0	▲ 10.8	▲ 4.4

### <経営者の目・見方・etc>

自動車整備、  
板金塗装  
機械設計

ソフトウェア

システムサポート  
旅館

ホテル

タクシー

リラクゼーション  
ペットサービス

教育業  
写真

- ・近年、大型連休が多くなり、サービス業の当社は苦しい状況でもある。働き方改革と世間では言われるが、中小企業では疑問が残ると思う。
- ・まだ厳しさは残っている。来期の話は出て来ているが、2月後半にならなければ分からない状態である。
- ・新型コロナウイルス感染症による直接の影響はないが、今後システム化予算のカットなどに出てくるものと思われる。
- ・バンダー丸投げで長期間一定の場所で拘束する作業現場での衛生面など、IT業界特有の問題が懸念される。
- ・今のところ特に大きな動きは見られない。
- ・団体客は扱わないため、新型コロナウイルス感染症によるキャンセルはほとんどないが、今後の成り行きが心配である。
- ・中国からのお客様のキャンセルで売上が減少している
- ・宿泊、宴会とも1月は好調であった。2月に大客室数のホテルがオープンするので客の流れが心配である。
- ・新型コロナウイルス感染症発生により、今後の旅行客の減少が心配される。
- ・新年の行事や催しが行われて街中は賑わったが、客数や売上は前年と変わらなかった。
- ・景気が良いと思う。
- ・来店数、売上共に前年並みだった。
- ・キャッシュレス決済が急激に増えてきた。お客様にとってはメリットがあるが、少なくとも当店のメリットは感じられない。
- ・受験シーズンと英検もあり、集中強化を希望する生徒が増加傾向にある。
- ・パソコンのバージョンアップ、機材の修理対応の終了の案内が来た。パソコンを新しくした方が良いのか検討が必要である。

ビル・住宅総合メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足のため仕事を断らなければいけないという厳しい状況である。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に、世界、日本も巻き込まれ、先々の経済動向が心配である。</li> </ul>
建築設計、工事監理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響が心配である。</li> </ul>
測量・建設コンサルタント業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3次元データを活用した測量の新技术が急速に進展しているが、それになかなか対応できない。人材育成と設備投資が問題である。</li> </ul>
ホームクリーニング・リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症と暖冬の影響が2月以降、売上、利益共にありそうで心配である。</li> </ul>

